



佐古小学校 第十つばさ 議員(6年) 中川遼太郎 議員(6年)

緊急時の備蓄品は、計画的に準備してはいますが、地震や津波の発生直後は、物資を届けることが困難な状況が考えられます。まずは、市民の皆さん一人ひとりが3日から1週間程度の飲料水や非常食等を備えるように心がけてください。

地震警報が鳴るのは携帯で聞いたことがありますが、スーパードの近くでは聞いたことがありません。そのような点から地域ごとに警報を設置してほしい。現在、香南市では、屋外に設置したスピーカーから各地域に一齐に放送する防災無線を今年の秋ごろに完成させる予定です。完成すると、地震などの災害が発生したとき、市内全ての



香我美中学校 岡村風弥 議員(3年)

地域に放送ができるようになります。市民の皆さんに危険を知らせることが出来ます。また市内の小中学校と保育所、幼稚園には、地震発生に対する緊急地震速報装置を設置し、ゆり／早／揺れに準備することによって、被害を小さくすることが出来ます。

香我美中学校では、アルミ缶を回収し、その収益金で施設に車椅子の寄贈をしています。市としては、どのような協力を考えていますか。市でアルミ缶の回収について協力することは、難しいですが、古い紙などをグループで回収する時は、奨励金を出しています。この奨励金の登録団体に香我美中学校生徒会やPTAも登録し、アルミ缶と一緒に古紙等の回収を行っています。どうかと思います。皆さんの活動に大変感謝しています。がんばってください。



赤岡中学校 志磨村太陽 議員(3年)

ごみを川や道などに平気で捨てる大人が多いと思います。いろいろな所に捨てないために、また河川を美しくするために、香南市ではどのような対策をとっていますか。市では広報誌を使って、不法投棄をしないよう呼びかけたり、ごみが多く捨てられる所には防止の看板を設置したり、投げ捨て防止用の防護ネットを張ったりしています。そして、投棄されたごみを回収し、中身をあらためて個人が特定できれば直接注意をしています。また、場合によっては、ごみが繰り返し捨てられ、きれいにならない所などには、監視カメラを設置するようになっています。これくらいなら「という気持ちで、小さなごみを捨てる人が多いので、今後も広く知らせていくよう啓発に努めたいと考えています。



香我美小学校 高田彩那 議員(6年) 山地匠 議員(6年)

香我美町はみかんの生産が盛んで、秋になると「山北みかんはおいしい」と言っていて、市外からたくさんの方が良心市に買いに来てくれます。農家の人たちも努力してくれていると思いますが、もっと県外の人たちにPRしたり、みかんを使ったいろいろな商品を開発したりして、山北みかんを売り出すことはできないでしょうか。山北みかんの販売については、ハウスみかんは県内60%、県外が40%となっており、主に岐阜県、大阪府、岡山県、香川県の市場へ出荷しています。露地みかんについては、良心市を含めて、ほとんど県内の市場に出荷しています。



野市小学校 谷岡航輔 議員(6年) 野口絵美 議員(6年)

香南市には、さまざまな施設がありますが、科学博物館のような教育的な施設がありません。そのような施設があれば、市の魅力も上がり、人口も増え、自分たちの学習にも役立つと考えていますが、施設を作る予定はありませんか。現在のところ、香南市での科学博物館の建設は予定していませんが、高知市内に図書館と科学館が一緒になった施設を建設中です。

市内にはポリテックカレッジ高知があり、隣の南国市には、高知大学農学部と高知工業高等専門学校、香南市には高知工科大学、芸西村には芸西天文学習館があるなど、科学的について学べる環境が近くにありますが、それぞれの学校や施設が取り組んでいることを連携という線で結び大きな面になります。みんなが知恵やアイデアを出し合えば、これまでの形にと



赤岡小学校 蟹井陽 議員(6年) 川村心美 議員(6年)

らわれない、新しいことができると思います。魅力あふれる香南市になるよう、ぜひこれからも提案をお願いいたします。

私の両親は香南市で働いています。私も将来、香南市で働きたいと思っています。そのためにも、市にもっとたくさんのお店やいろいろな施設ができればいいと思います。香南市が将来、もっと大きなまちになるような計画はありますか。高知県の人口が減少しているのと同じように、香南市も人口は減少すると考えられています。そのため、今以上に施設を増やしたり、まちを大きくしたりすることは、難しいです。でも、まちの中身をもっともっとうるす計画は考えています。皆さんが、働くようになってきたとき、香南市で自分の夢を叶える仕事につけるよう、まちづくりに取り組んでいきます。

阪神・淡路大震災で、は、多くの方が倒れてきた木造建物などの下敷きになって亡くなられた。その割合は死亡原因の80%に相当すると言われています。高知県が発表した南海トラフ地震の被害予想では、建物の耐震化や家具、電気製品の固定により、亡くなったたり、けがをする人の数が4分の1以下に減ると言われています。香南市では器具などの配布はしていませんが、家具の転倒防止金具やガラスの飛びちり防止フィルム、揺れを感じて電気をこめるブレーカー等の購入費用の半分を補助しています。補助金の上限額は1万円となっていますが、寝る部屋など長時間過ごす場所を中心に行ってもいいと思います。また、自分で金具の取り付けができない家庭には、4力所まで市の負担で取り付けを行っています。



夜須中学校 野島悠希 議員(3年)

夜須中学校では、下校時や夜間通る道路に街灯の少ない所があり、生徒たちが危険や不安を感じています。そこで、市として、下校時の防犯対策や事故防止など安全を確保するという観点から、何らかの対策が取れませんか。防犯灯の設置は立てようとする場所の近隣の方々の承諾や電気代などの管理費、虫や作物の影響など事前に解決しなければならぬことがあります。市では各町内会や自治会、まちづくり協議会から防犯灯の増設の申請を受け付けていますので、特に不安に思われている場所などがあれば、生徒一人ひとりの意見でなく、生徒会などを中心に、設置してほしい場所を絞り込み、PTAの方々と相談されて、地域から申請をいただければ対策が取れます。

香南市には、市民プールがありません。市民プールがあれば高年齢者や障害のある人の運動不足解消やリハビリになります。また、子どもにとっては良い遊び場にもなると思います。市民プールを市につくることはできないでしょうか。香南市では現在、市民プールを設置するという計画はありません。市民プールの設置には建築費だけでなく水質の管理や施設の整備、それらを維持管理するための人手など、多くの費用が必要となります。しかしながら、健康維持のためや、市民の交流のための施設はほしいと思います。近隣の市町村では、利用できるプールがありますが、住民と住民外で利用料金の差が設けられています。今後は同じ条件でプールの利用ができるような助成制度や交通支援も含めて検討していきたいと思っています。



野市中学校 安岡里梨 議員(3年)

修学旅行で兵庫県の「人と防災未来センター」に行きました。



夜須小学校 國光榮菜 議員(6年) 野島小晴 議員(6年)

修学旅行で兵庫県の「人と防災未来センター」に行きました。

修学旅行で兵庫県の「人と防災未来センター」に行きました。

修学旅行で兵庫県の「人と防災未来センター」に行きました。